

日本国民救援会岩手県本部  
〒020-0015  
盛岡市本町通2-14-27  
TEL. FAX (019) 652-3591  
http://homepage3nifty.com/kokumin  
kyuenkai-iwat/  
eメール BCBI3331@nifty.com



1カ月300円(郵送料1部40円)  
日本国民救援会発行  
発行人 瑞慶寛 淳  
〒113-8463 東京都文京区湯島  
2-4-4 平和と労働センター内  
電話 03(5842)5842  
FAX 03(5842)5840  
http://www.kyuenkai.org  
eメール info@kyuenkai.org

救援新聞・岩手版 28

毎月5の日、月3回発行

# 09北上支部総会ひらかる

「新たな方針で前進をめざす」



北上支部総会が、去る七月四日(土)午後一時から、黒沢尻第二六区公民館(大通り一丁目)で開かれまし

た。加茂敏彦支部長の挨拶、小杉県本部会長、鈴木党中部地区委員会の代表挨拶がそれぞれ行われ、総会は議事に従います。総会では、活動総括の中では、「他団体と連携しながら、政治

革新の課題に力を尽くしたこと」、事件支援では、「県内及び東北での事件支援を重点事件支援と位置づけて取り組んだこと」が報告され、学習面では「県本部結成30周年記念講演会。荒川庸生さん(東京葛飾ピラ配布)弾圧事件支援講演会。治安維持法と和賀・黒沢尻の戦前の運動学習講演会。宮城・北陵クリニックス事件支援集会。」などのとりくみの報告が行われました。経過報告と決算の承認が了承され、次年度の新たな運動方針・予算も承認さ

れ、つづいて役員改選や規則の改正で、日程が終了、新旧役員の挨拶で閉会となりました。憲法九条を守る活動、国際問題の平和的解決実現のとりくみなど、積極的に取り組むことが掲げられ、「80問80答」など、選挙運動をのびのびと行う取り組みについても、強調されています。

組織活動については、有権者比〇・一%の会員を展望し、09年度は65名(09年3月末現在、59名)にすることが決められ、その実現に全力をあげる事が表明されました。

## 渡政・山宣労農葬

日本国民救援会の歴史

一九二八(昭和三)年十月六日、共産党書記長渡辺政之輔氏が台湾のキールンで射殺された。内務省は自殺である、といつているが、実際は警官とピストルのうち合いになり、射殺されたのであった。

この年一月二三日、東京の本所公会堂の新労働農民党準備会再建大会でこれが報告された後、救援会は労働同盟、労働組合全国協議会、無産者新聞社などと相談し、共同主催で「渡政」の虐殺に抗議するため、

三・一五の一周年に渡政労農葬を開催することにした。ところがその準備中に山本宣治代議士が一九二九(昭和四)年三月五日、東京神田の宿舎光栄館で、ファシスト黒田保久二に刺殺された

先に緊急勅令による治安維持法改悪の承認が衆議院に求められた時、無産政党の他の代議士は、内閣の脅迫と買収に屈したが、山本代議士だけは屈しなかった。

三月五日の本会議で、山本代議士は反対討論をすることにしてしたが、内閣や保守政党の議事妨害で、一言も発言できなかった。そして、失意のまま光栄館に引き上げた後、黒田に刺殺されたのであった。そこで、労農葬は「山宣」を加え

「渡政・山宣労農葬」として行うことになった。

本葬にさきだち三月八日、山宣の遺体は東大で解剖された後、旧一高前のキリスト教青年会館のホールに安置され、同志、支持者がお別れをした。その後私たちが棺をかっつ本郷三丁目の仏教青年会館に向かった。

仏教青年会館での告別式は、大山郁夫氏が議長。正私服の多い会場は、同志、支持者とともに、政友会、民政党の代議士もおり一ぱいだっ。当時の野党民政党の永井柳太郎代議士が「いやしくも代議士の告別式に、こんな警戒をすることは何事だ!」と怒っていたのは印象的であった。(救援会小史より) ー つづく

## 「関修紅高校」の不当処分撤回の戦い

私教連副委員長 千葉 幸浩氏

北上支部の総会後は、右演題による講演が行われました(詳細については後ほど)。資料を基に詳しい説明がありました。仲々厳しい情勢である旨の報告がありました。一部展望の見える点もあり、参加者は比較的明るい表情で報告を聞きました。

2009年8月5日

救援新聞いわて

第1607号